

令和6（2024）年9月

士別市長 渡 辺 英 次

「市長への手紙」の回答について

拝 啓

秋涼の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長への手紙」で、ウィッグ購入の助成に関する貴重なご意見をいただきました。

治療を継続しながら社会生活を送る方が増え、学業や仕事等、生活を維持する上で、外見変化に対する医療現場でのサポートの重要性が認識されています。

医療機関では、患者さんや家族を対象とした交流の場の設置や、アピアランス（外見・外観・容姿などのこと）の変化に対するケアとして、医療用ウィッグ等についての講座や相談コーナーを設けるなど、サポートが進んでいます。

道内自治体では、旭川市を含む4市2町がウィッグや乳房補整具の購入費用の助成を開始し、都道府県では福島県や東京都、福岡県で事業が行われていると承知しています。

本市としても、治療に伴う外見変化による心理的負担や社会参加に対する不安を和らげ、誰もが自分らしく活躍できるよう、アピアランスケアの重要性を認識していますが、全国の罹患率から試算した場合、年間100人以上の方が、新たにがんの診断を受け治療することが想定され、市の財政状況から、現時点での購入費用の助成は難しいと考えます。

今後は、不安や悩みを相談できる環境づくりの一助として、アピアランスケアに関する情報を市ホームページでお知らせすると共に、北海道や道内他市と情報交換を行う中で、実情に合わせた持続可能な支援を検討してまいります。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長への手紙」の回答といたします。

敬 具

・担当課

健康福祉部保健福祉センター

士別市東11条5丁目 電話22-2400（直通）

・広聴担当課

市民部くらし安全課

士別市東6条4丁目 電話26-7736（直通）